

低CO₂ 铸造品発売

日本铸造 海事協会から認証

年度下期めど

一生産量の下で、GHG排出量が50%以上削減していることを確認

していた。
今回は日本铸造が創出した製品生産に係るCO₂削減量について、日本海事協会から第三者認証を取得したもの。需要家が指定する铸鋼品、高付加価値製品である低熱膨張合金「LEX」など生産する製品を低CO₂铸造製品として割り当て、販売することが可能になる。詳細は現在検討している。

日本铸造は、2023年度下期をめどに低CO₂铸造製品の販売を開始する。自社で創出した製品生産に係るCO₂削減量について、日本海事協会から第三者認証を6月末に取得した。製造プロセスでCO₂排出量を削減した分について、マスバランス方式で本社・铸鋼工場川崎地区（川崎市川崎区白石町）が生産し、需要家が指定する铸鋼品に割り当て、販売する。21年度のCO₂排出削減量から同社製品の原単位をゼロとした場合、川崎地区における年間生産量の3割程度の製品供給を想定している。関連記事2面

マスバランス方式で

川崎地区、3割程度想定

同社は50年度のカイボシニュートラル（C/N）実現を目標に掲げている。これを達成するため、溶解工程における使用溶解炉の変更や操業技術の改善に注力。同時に太陽光発電

システムを増設するとともに、北陸電力から非化石証書使用の電力を導入するなど、再生可能エネルギーやこれを由来とする電力を積極的に活用している。

8日付で温室効果ガス（GHG）排出量の算定・検証に係る国際規格「ISO14064-1」の認証を取得した。ここでは13年度を基準年度とし、21年度を対象とするGHG排

出量に関して、同国際規格に準拠して算定したことを日本海事協会が評価・検証した結果、21年度には13年度と同

鋼材加工センター（型鋼、鋼管、非鉄）

3次元レーザー加工

試作から量産品まで短期対応
12Mまで加工可能

麻布成形株式会社

ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-354-8211
<http://www.az-azabu.com>